

つつじの育苗に関する研究（予報）

国重正昭・田村輝夫
（園芸試験場久留米支場）

KUNISHIGE, M. and TAMURA, T.
Studies on the Peat Culture of Azalea (Preliminary report)

我国から米国，ヨーロッパ向けの苗木類の輸出は漸増の傾向にあるが，特に米国向け輸出の場合は根についた土壌を洗い落すことが要求されており，これが輸出の障害となつている。

また，アザレアの栽培では従来ミズゴケを植込み材料に使用していたが最近ではその入手が次第に困難となつてきている。これらの点から植込み材料として土壌を使用せず，比較的供給の安定した材料を使用しているアザレア，久留米ツツジの栽培法を確立する目的で

実験を行なつた。実験の概要は第1表に示す通りである。使用材料のうちピート（粗）は北海道産ピートをそのまま使用し，ピート（調整）は細かくほぐしたものである。それぞれの材料に植込んだアザレア，久留米ツツジは38年11月以降，39年9月まで毎月，新しく伸びた枝の長さ，古い枝の長さ，全葉数を測定した。なお久留米ツツジの鉢のうち，6～10は露地で育て，その他は冬期温室に搬入した。

結果は第2表以下に示す通りである。

第1表 実験の概要

使用材料	開始時のPH	1年後のPH	鉢数		備考
			王冠	キリン	
ピート（調整）	5.70	6.10	10	10	挿木 6月10日 鉢上げ 11月13日 施肥基準 {KNO ₃ 80.8gr {Ca (NO ₃) ₂ 4H ₂ O 94.4" {Mg SO ₄ 7H ₂ O 49.2" {NH ₄ (H ₂ PO ₄) 15.2" {H ₃ BO ₃ 0.3" {MN SO ₄ 4H ₂ O 0.2" Sequestrene Fe 138 5" を100ℓの水に溶かし 1株当り50ccづつ20日おきに与えた。
ピート（粗）	4.63	6.35	10	10	
パーミキュライト	6.43	7.15	10	10	
パーライト	7.32	7.03	10	10	
ミズゴケ	5.45	7.31	10	—	
テンポロン	7.76	7.57	10	10	
パーライト+ピート	5.35	6.60	10	10	
パーライト+パーミキュライト	6.20	7.30	10	10	
ピート+パーミキュライト	5.15	7.10	10	10	

第2表 枝長，葉数の年間増量（アザレア）

使用材料	総鉢数	1年後の鉢数	枝長			葉数			増加量
			旧初長	1年後の初長	新枝年伸長量	初葉数	1年後の葉数		
ピート（調整）	10	10	6.0	6.0	76.8	8.4	118.6	110.2	
ピート（粗）	10	9	5.0	4.7	78.8	7.8	121.3	113.5	
パーミキュライト	10	8	6.4	7.8	19.9	8.3	55.5	47.2	
パーライト	10	1	5.6	4.2	13.4	7.4	27.0	19.6	
ミズゴケ	10	6	7.1	6.6	67.7	9.9	111.0	101.1	
テンポロン	10	8	5.8	5.5	10.7	8.9	58.6	49.7	
パーライト+ピート	10	6	5.1	5.7	54.0	6.4	82.5	76.1	
パーライト+パーミキュライト	10	2	6.8	9.0	7.3	8.6	51.0	42.4	
ピート+パーミキュライト	10	8	5.4	6.2	79.0	6.9	121.0	114.1	

第3表 枝長の月別推移（アザレア）単位 cm

使用材料	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ピート（調整）	—	—	0.6	3.1	9.8	27.2	39.8	55.8	62.6	70.0	76.8
ピート（粗）	—	—	1.6	2.7	6.8	20.0	31.6	47.1	59.3	65.8	78.8
パーミキュライト	—	—	1.5	2.9	5.2	8.5	12.1	15.7	15.1	21.1	19.9
パーライト	—	—	1.1	—	0.6	3.0	5.7	6.0	3.2	6.9	13.4
ミズゴケ	—	—	1.8	2.1	3.6	12.3	16.2	24.6	28.0	50.4	67.7
テンポロン	—	—	1.9	1.6	3.5	4.8	7.6	7.6	9.7	9.3	10.7
パーライト+ピート	—	—	1.5	2.4	5.6	15.7	24.2	30.5	46.6	46.8	54.0
パーライト+パーミキュライト	—	—	—	—	2.6	5.7	4.6	3.6	7.4	6.2	7.3
ピート+パーミキュライト	—	—	1.0	2.1	7.6	21.5	30.3	48.3	59.4	62.7	79.0

アザレアの新枝の伸長量は1964年9月現在、ピート単用及びピート+バーミキュライト区が多く、ミズゴケ区とピート+パーライト区がこれに次ぎ、その他の区は伸長量が少ない。

久留米ツツジでは、ピート単用区より、ピート+バーミキュライト区とピート+パーライト区の新枝の伸長量が多く、葉数についても同様の傾向がみられる。

この実験は目下継続中である。

第4表 枝長、葉数の年間増量 (久留米ツツジ)

使用材料	鉢番号	総鉢数	1年後の鉢数	旧枝		新枝 年間伸長	葉数		
				初めの長さ	1年後の長さ		初めの葉数	1年後の葉数	増加量
ピート (調整)	1-5	5	5	41.7	41.6	152.0	52.2	364.0	311.8
	6-10	5	5	27.9	28.8	94.5	45.6	303.4	257.8
ピート (粗)	1-5	5	5	34.2	34.2	179.6	51.0	410.6	359.6
	6-10	5	4	33.8	30.3	75.7	51.0	288.5	237.5
バーミキュライト	1-5	5	5	33.5	34.1	34.1	54.8	197.6	142.8
	6-10	5	5	32.5	33.3	73.8	50.2	348.0	297.8
パーライト	1-5	5	5	33.3	34.9	31.6	56.4	204.0	147.6
	6-10	5	5	31.8	33.6	31.8	53.0	224.0	171.0
テンポロン	1-5	5	5	33.9	36.1	30.0	56.4	154.0	97.6
	6-10	5	5	32.0	32.1	20.4	51.4	142.8	91.4
パーライト+ピート	1-5	5	5	32.6	32.0	201.2	52.8	501.2	448.4
	6-10	5	5	31.3	29.1	131.2	50.8	358.8	308.0
パーライト+バーミキュライト	1-5	5	5	36.6	37.1	30.9	49.4	197.6	148.2
	6-10	5	5	35.3	34.9	33.1	42.2	216.6	174.4
ピート+バーミキュライト	1-5	5	5	34.0	35.7	221.8	45.0	638.8	593.8
	6-10	5	5	36.7	38.0	126.3	50.0	371.8	321.8

第5表 枝長の月別推移 (久留米ツツジ) 単位 cm

使用材料	鉢番号	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ピート (調整)	1-5	—	—	—	10.7	27.4	74.9	116.9	136.3	143.1	140.2	152.0
	6-10	—	—	—	—	—	13.7	24.7	35.5	69.8	80.2	94.5
ピート (粗)	1-5	—	—	0.6	8.6	24.9	76.3	107.5	156.6	151.8	138.6	179.6
	6-10	—	—	—	—	—	13.9	26.3	37.5	79.4	85.6	75.7
バーミキュライト	1-5	—	—	—	6.5	11.9	20.9	25.6	29.4	28.7	26.0	34.1
	6-10	—	—	—	0.3	0.6	12.1	22.7	29.5	46.6	63.4	73.8
パーライト	1-5	—	—	—	3.0	10.8	19.7	22.1	22.5	23.9	27.2	31.6
	6-10	—	—	—	—	—	7.7	17.7	24.3	25.8	25.2	31.8
テンポロン	1-5	—	—	—	2.1	11.5	24.2	29.1	34.2	27.0	26.9	30.0
	6-10	—	—	—	—	—	5.9	12.1	15.4	18.3	21.2	20.4
パーライト+ピート	1-5	—	—	—	8.8	28.3	74.0	112.3	127.5	151.6	170.8	201.2
	6-10	—	—	—	—	—	11.3	29.2	48.2	83.2	112.4	131.2
パーライト+バーミキュライト	1-5	—	—	—	6.5	11.6	18.8	28.5	24.4	—	26.8	30.9
	6-10	—	—	—	—	—	6.5	11.3	20.5	23.4	30.0	33.8
ピート+バーミキュライト	1-5	—	—	—	5.8	18.9	—	131.3	156.4	189.3	189.0	221.1
	6-10	—	—	—	—	—	13.3	26.1	74.1	108.3	130.7	126.3